

□ 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

私たちは今、人工的な時間を生きている。毎日決まった時間に起き、学校や会社へ行き、同じような時間に帰宅する。それは学校での学習カリキュラムや会社の勤務時間に従っているからで、自然の時間に対する配慮より効率性や生産性が重視されている。でも、生物である人間の心身は、これらの人工的時間に完全に適応しているわけではない。身体の内にも外にも人間以外の生物がいて、私たちの体や心に大きな影響を与えている。たとえば、人間の腸内にいる100兆個を超えるバクテリアは、心身の健康に影響する。季節の移り変わりは動植物の活動を左右し、その働きによって花粉⑩シヨウに悩まされたり、まばゆいばかりの満開の桜に心を動かされたりする。そうした自然の時間の流れに、私たちはいつから距離を置くようになったのだろうか。

それは、①人間が自然の時間を止めて文明を作ったからだと思っ。生物の世界は同じことを繰り返し返さない。同じようなことが起こるが、時間の経過とともに主体も状況も常に変化している。しかし、2600万年前に登場した石器は同じ動作を繰り返し返させる機能を持っていた。石器を扱う人が目の前にいなくても、それを使う動作を連想させてくれるからだ。その後、様々な道具が作られ、人間は道具を使うことによって均一な行動をとるようになった。道具は変化する時間を止めて、人間の行為を固定したのだ。さらに、7万～10万年前に言葉が登場したことで時間の流れが一気に変わった。重さがない言葉はどこにでも持ち運べる。遠くにあっても見られないものや、過去に起きて体験できなかったことを、言葉によって知ることができる。②言葉は「自ら体験する」時間を止めて、物や出来事を抽象化し再現してくれる。言葉のない時代は日々変わりゆく自然に直観的に対処することにより人間は暮らしていた。しかし、その時間を止めて様々な風景を言葉で描くことにより、私たちは世界観を共有することができた。だから、言葉は多くの人々をつないで社会を拡大し、都市文明を築く礎となった。

絵画や彫刻などの芸術も事物の動きを止めて造形し、新たな境界を引いて世界を創造することに貢⑤ケンした。音楽は世界の動きを音に変えて再現し、そこに目に見えない心の状態を埋め込んで新たなリズムを生み出した。芸術は言葉と共に世界の見方を変える役割を果たしたと言える。

だが、③人間はさらに時間に時間を操作し始めた。18世紀から19世紀に起こった産業革命は化石燃料を使った新しいエネルギー源を手に入れ、機械の力による生産工程を始動させた。これまで風や水や火、家畜などの自然な力に頼ってきた考えは一変した。都市にいくつも工場が出現し、労働者が密集して、都市は巨大になった。生産性と効率性を高めるために、作業工程は時間によって管理されることになった。機械が時間に沿って正確に動かされると、人間もその時間によって管理され始めた。その結果、あらゆることが時間によって企画され、スケジュールに沿って私たちは暮らすようになった。情報時代を迎えた今、私たちは情報によって未来の時間を先取りするようになった。数ヶ月先の旅行のスケジュールを事細かに決めて飛行機やホテルを予約する。コンサートやスポーツ大会のチケットを早めに予約し、会議の予定と共にカレンダーに書き込む。私のカレンダーも一年先まで様々な予定で埋め尽くされている。そのための準備をいつも頭に入れておかねばならないから、④美は未来を先取りしているようで、逆に未来に現在の時間を奪われているとも言える。科学技術の発達と情報化の時代に自分の自由な時間が増えると思っていたのに、さらに忙しく窮⑥クツになったと感じるのはそのせいではないだろうか。

しかし、先取りしたはずの未来はますます不安定になる様相を示している。大気や海洋の温暖化によって気候変動が顕著になり、想定外の大雨、洪水、干ばつ、森林火災が頻発し、地震や津波もその規模を増している。ロシアのウクライナへの軍事侵入もヘマスとイスラエルの軍事衝突も解決の糸口は見えないままだ。これらの事態によって小麦を始めとする食物の流通に影響を受け、物価は値上がりし続けている。果して⑤私たちが操作し、予測したような未来が訪れるのだろうか。

私たちの弱みは、操作できない自然の営みによってもたらされる災害に対処できていないことにある。南海トラフを始めとする大地震が近未来に起こると予測されているのに、危険地域からの移動計画も防災体制も完⑦ビしていないと言っている。自然の時間の流れを無視して人工的な時間を優先すれば、自然の猛威に対処できなくなる。⑥現代の大都市中心の暮らし方は、いずれ大きな災害や破壊を招くだろう。

そうした危機を防ぐためには、自然の時間に寄り添った。暮らしを取り戻す必要がある。無理に予定を詰め込まず、天気を見て日々の行動を決める余⑨エウヤ、自然の変化に応じて柔軟に予定を組み替える心構えがほしい。都市を離れ、自然の時間に寄り添える場所に身を置く機会をもつべきだ。そして、何より人間以外の生きものに

問一 傍線部⑨のカタカナを漢字に改めたものとして適当なものをそれぞれ後の①～④の中から選んで記号

で答えよ。

- ① ① 兼 ② 敵 ③ 憲 ④ 遣
⑤ ① 備 ② 微 ③ 尾 ④ 美
⑥ ① 有 ② 遊 ③ 優 ④ 裕

問二 傍線部①の説明として適当なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ① 常に変化し続けて止まない自然界の影響を受けて人間の健康が左右されるのをコントロールすることに成功した。
② 人間の作った道具は誰にでも同じ動作を繰り返し返させるので、変化し続けていた自然の時間を止めることに成功した。
③ 人間は道具を使い始めてから文明を築き、ついには人間の体内バックテリアをコントロールすることに成功した。
④ 初めて石器を見る人にも使い方は容易に理解でき、みんなに使い方が共有され石器文化といわれるようになった。

問三 傍線部②の説明として適当なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ① 言葉では何とでも飾ることができるので言葉は信頼するに足らず、実際の行動だけが説得力を持つ。
② 日々変わっていく自然現象を言葉でとらえ地球成立以前の太古の昔をありありと再現することができる。
③ 人類出現以降、言葉のない時代ということとはあり得ないことで人類の歴史はすなわち言葉の歴史である。
④ 実験をしなくても心の中で追体験でき、物語や知識として伝承したり共有したりできる。

問四 傍線部③の説明として適当なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ① 自然の時の流れに任せていた生活から工場の効率的運用のために人間が時間を管理する生活に変化した。
② 太古の昔には時間を管理できなかった人間が時計などの原始的な時計で人間の時間を管理し始めた。
③ 自然の時間を人間の基準に当てはめて動植物の世界を自在に操り、計画的な繁殖や生産を可能にした。
④ 天体などの自然のサイクルを長年観察し計算して導き出した時間の概念が今日の太陽暦のもとになった。

問五 傍線部④の説明として適当なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ① 常に未来のことを予測して生活しなければならいので過去に学習したことなどを振り返る時間がない。
② 情報化の急速な進展によって予定をAIに立てさせてしまうので人間の意志の入り込む余地がなくなる。
③ 情報化によって容易にかつ早めに予定を立てられるが、そのぶん予定が増えて現在の生活が多忙になる。
④ 自分の日々の生活の予定を立てることは簡単にできるが、人生は計画したとおりに進まないことが多い。

問六 傍線部⑤の内容として適当なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ① 愚かな為政者よりもよりの確な判断をするAIに従って構築された平和で安全な世界。
② 科学技術の発達により労働が軽減されて余暇ができて自由な時間が増えるような生活。
③ 将来必ず起こると予測される巨大地震が的確に予測され被害が最小限になる都市生活。
④ ロシア対ウクライナ、ハマス対イスラエルの戦闘など人間の意志による悲惨な事態。

問七 傍線部⑥の理由として適当なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ① 自然の時間の流れを考慮せず、人間生活の効率化を中心にした都市を建設してきたから。
② 地震や台風などの自然の脅威にはどんな防御も通じないと諦めて対策を立てていないから。
③ 都市生活者は台風や地震などの災害に対する意識が低く、ほとんど警戒をしていないから。
④ 地震や台風の記録や伝承は古来多くあるのにその歴史を危機感を抱いて学ぶ姿勢がないから。

解答番号 11

解答番号 10

解答番号 9

解答番号 8

解答番号 7

解答番号 6

解答番号 ① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

〔二〕 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

かつて私はダメ社員①の②「テニ」型でした。
遅刻、一日酔い、居眠り、ロケたえ、まさに「超」がつくほどひどい新入社員だったのが、それでも懸命に働く男たちを目にするだけで、多少なりとも世間というものを知ることができた。それと同時に、いかに自分が勤め人には向いていないかをつくつく思い知らされました。
そんな私が、「これから世の中に出ていく若者に向けて、メッセージをくれませんか」なんて頼まれるようになつたのだから、世の中は不思議なものです。

「人とつるむな、孤を知れ」
それが、私がいつも言うことです。
暇さえあればスマホを取り出していじる。
テレビや新聞の言うことを丸呑みする。
いつも誰かと集まって、騒ぐとする。
私に言わせれば、どれも同じように「つるむ」ことでしかありません。
要するに、「孤」を知ることと恐れ、自分の頭で考えようとしていない。周囲と違う行動をとるより、他人と群れることで安心したがるのは社会的動物たる人間の一面面かもしれないが、人とつるんでばかりだと①軟弱な大人にしかれない。そういう人のせいぜいの限界が、いかげん年を食ってからの「チョイワル」だろうと思えます。
「自分の正体を見極めてやるう」
そう心がけていると、②これは相当駄目なやつだな、ということが誰でも見えてくる。

そこで人とつるむのはやめろし、人に頼ることもしなくなる。
やがて気がつかないうちに、自分の足で立つて歩くようになる。
右の頬を打たれたら左の頬も向けなさい、と教えたキリストみだいには、とても自分は生きられない。それができる人はよほど優れているんだろう。欲深くて③サアけ者でスケベな自分の正体を知ったら、そんなの無理、できっこないと思うしかないはずだ。
「自分の正体とは何ぞや」それを、若い頃によく考えてほしい。
それが「孤」を知ることにつながるはずだから。
できるなら、自分の正体を知るために若いうちに外国へ行くことです。

夏目漱石のように留学して孤独とコングレスにあえぎノロイローゼになるのだから、若いから得られる人生の収穫だと思ふ。留学しなくても安いチケツを買って一人で異国の地にたずんでみたら、進学だの就職だの恋愛だのと悩んでいたことなど、まあ大した問題ではないな、と身にしみてわかるだろう。
それと同時に、グローバルスタンダード、グローバル人材と言っければ、東洋と西洋はこれから何年たとうが別ものにはかないないし、日本にしかないものがあるということもあらためて知るはずだ。
旅というのは、それと意識しなくても様々なことをその人に教えてくれる。友人も知人もいない、言葉も通じない場所にボツンと身を置くからこそ、自分はいつたい何者なのか、世界とは何なのか、それを考えられるのである。
極端な話をする、「人はなぜ戦場を見るべきか」というのもそこに通じます。戦場で生きるか死ぬかの瀬戸際に立つたら、③だが黄色人種一人が死のうが生きようが、この世界にとつて何でもないんだな、と身にしみてわかるにちがひありません。

それこそが「世界」を知ることと、どれだけネットで情報を集めても、決して世界のありようなど分らないのだと私は思います。
自分には収入のある両親がいて何代続く家柄だとか、どの大学を出ているとか、今の会社での④カタ書きは何だとか、家柄やキャリアというのはその人の正体などではない。そういう無意味な「飾り物」ではない、それ以前の④「正真正銘の自分」を知ることが無頼のはじまりです。
正常者も異常者も、殺人者も⑤ジ愛者も結局はそこにたどり着きます。
だから、「自分の正体を知る」というのはその人が息絶えるときまで続く、生涯の仕事だと言ってもいいくらいです。

「どうやら俺の正体はこの辺らしいな」
「大人になる」というのは、それがわかってくることに他ならない。

問一 傍線部②～④のカタカナを漢字に改めたものとして適當なものをそれぞれ後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①殿②転③典④展 ①漫②情③怠④緩 ①肩②型③片④片 ①慈②地③侍④持

解答番号 16

問二 傍線部①の意味として適當なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①自分で自分の行動を律することができない大人
②人に寄りかかって生きていないと不安な主体性のない大人
③不良じみた言動をわざとして注目を浴びたい世間に甘えた大人
④自分の人生設計を自分で作ることでできない無計画な大人

解答番号 17

問三 傍線部②の示す内容として適當なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①仲間と連れになってしか行動できない自分自身
②仲間と連れになって悪さをしている不良少年たち
③せいぜいチヨロル程度の大人にしかない人々
④二日酔いで遅刻して出社する低い意識の社員

解答番号 18

問四 傍線部③の真意として適當なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①生きるか死ぬかの瀬戸際までおいづめられる戦場では自分の命を守るのが精一杯で戦友が死んでもどうする
こともできないということ。
②白人至上主義の人から見た黄色人種は劣等人種でたかが黄色人種一人が死んだところで白人が死んだほどの重要性はないということ。
③戦争を起こした人は安全なところにいるが戦場という窮極の場所では兵士も民間人も全ての人の命が粗末に扱われているということ。
④自分の命も取るに足りないような極限状態に身を置くと死や生や自己の存在などについて自身で深く考えるようになるということ。

解答番号 19

問五 傍線部④の説明として該当しないものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①孤独の場所に身を置いたとき一人で見直す自己の内面。
②自分の弱点や内面の醜い部分もふくめた自己の本質。
③自分を取り巻く様々な事柄から独立した自己の精神。
④世襲で代々続いてきた自分の家柄と職業に対する誇り。

解答番号 20

問六 傍線部⑤の理由として適當なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①自分の正体を追求することは死ぬまでやめることができず高齢になれば一層欲が深くなるから。
②大人になると自分の正体が分かってきてより高い社会的地位を求めて活動的になるから。
③人生にとって無意味な飾り物と真に必要なものの区別が付き必要なものだけを求めるから。
④自分の正体の追及は死ぬまで終わらず、高齢になると性格の偏りがますますひどくなるから。

解答番号 21

問七 傍線部⑥の意味として適當なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- ①社会の法律や道徳などは考慮しないが自分の内面の正義感によって果敢に対処する生き方。
②人を当てにせず人から惑わされず自分の精神と肉体を使って独立独歩で人生を創造する態度。
③皆と仲良くして生きることができず孤独ではあるが、弱い立場の人を力で守ろうとする生き方。
④一般社会と協調できず自分勝手に振る舞って法を犯しても意に介することなく平気な生き方。

三

次のA～Fの言葉の使い方として適当なものをそれぞれ後の①～④から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [22] B [23] C [24] D [25] E [26] F [27]

A言わずもがな

- ①オリンピックで金メダルを獲った選手は言わずもがなの顔で帰国した。
②言わずもがなのことをSNSで言って裁判沙汰にまでなった。
③熊本県では台風の被害が比較的軽くて言わずもがなだ。
④雨に降られ自転車車で転んでスッポは壊れて言わずもがなの目だった。

Bどどのつまり

- ①ハイサイラスとカレライラスを比べたらどどのつまりではない。
②こんなに災害が多いのは地球のどどのつまりが悪いのだ。
③先生たちが懸命にとどのつまりをしてしてくれたから合格できた。
④どどのつまり俺が責任とれば済むことなんだね。

C物議を醸す

- ①彼女の差別的言動はたびたび世間で物議を醸す。
②物議を醸したような酒はこの造り酒屋にしか作れない。
③様々なサプリメントで物議を醸したがどれも効かない。
④次々とこまめな物議を醸すと必ず良い結果が出る。

D堂に入る

- ①昔は平均七十歳くらいで堂に入っていたが、今はみんな長命だ。
②小学生なのに三味線の技はなかなか堂に入ったものだ。
③一流選手が堂に入ると連戦連勝してもう誰にも止められない。
④人間以外の動物も赤ちゃんの時はみんな堂に入ってかわいい。

E脈がある

- ①食中毒患者の脈があるところをたどってやっとな原因物質を突き止めた。
②朝くらいうちから脈があるところを通ってやっとな山頂に到着した。
③完全に断られたわけではないからこの商談はまだ脈があるよ。
④たまには各駅停車の列車で脈があるところをゆっくり訪ねるのいいね。

F出汁にする

- ①先頭打者のヒットを出汁にするとあとは次々にヒットが出て大差で勝った。
②長い間練り返した実験を出汁にしてノーベル賞をもらうまでになった。
③口先で出汁にするばかりで実際に行動したためしは一度だってない。
④子供を出汁にして金を借りるなんて褒められたものじゃないね。

四

次のA～Eの傍線部の品詞として適当なものを後の①～⑨から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [28] B [29] C [30] D [31] E [32]

A昔よくあの店で食べたものだ。

B向こうへ行つてから考えてもいいよ。
C歳末セールをにぎやかに宣伝している。

Dこれは人から聞いた話です。
Eレシビを読んで頭に入れておいてください。

- ①助動詞 ②形容動詞 ③連体詞 ④感動詞 ⑤助詞 ⑥形容詞 ⑦副詞 ⑧動詞 ⑨接続詞

五

次のA～Gのことわざの意味として適当なものを後の①～⑨から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [33] B [34] C [35] D [36] E [37] F [38] G [39]

A元の木阿弥

B無用の長物

C人を呪わば穴二つ

D青菜に塩

E取らぬ狸の皮算用

F笛吹けど踊らず

G清水の舞台から飛びおる

- ①ふたたび以前のつまらない状態に戻るさま。
②元気をなくしてしょんぼりしているさま。
③他人を傷つけようとすると自分にもその害が及ぶこと。④外見は大きいくせに役に立たないもの。
⑤弱い立場でも不当な権力には反抗すること。
⑥危険をかえりみず思い切った事を行うこと。

- ⑦手をつくしても人がこちらの思い通りに動かないこと。⑧権力のあるものには逆らうと損をすること。
⑨不確実な事柄に期待してそれを元に計画を立てること。

〔六〕

次のA～Gの四字熟語の意味として適当なものを後の①～⑨から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [40] B [41] C [42] D [43] E [44] F [45] G [46]
A 意気揚々 B 荒唐無稽 C 韋編三絶 D 隔靴搔痒 E 故事来歴 F 朝令暮改 G 一日千秋

- ①得意になって誇らしい様子。②待ちわびる思いが非常に強いこと。③言動が粗野で他者に無礼な様子。
④熱心に繰り返し書物を熟読すること。⑤昔から伝わっている事柄のいわれ。⑥一日が早く過ぎること。
⑦指示や方針が頻繁に変わり当てにならないこと。⑧言うことに根拠がなくとりとめがないこと。
⑨思い通りにならずもどかしいこと。

〔七〕

次の文章の(A)～(E)に入る人名を後の①～⑨から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [47] B [48] C [49] D [50] E [51]

日本の伝統文化である和歌は、明治時代の初期までは、江戸時代と変わらず桂園派の優美な歌風が主流であったが明治中期になると、それまでの和歌が短歌よばれるようになりようやく近代の装いに姿を改めた。
明治二十六年には(A)が浅香社を起こしその門下から尾上柴舟、与謝野鉄幹、金子薫園など多くの新進歌人を輩出した。またほぼ同時に(B)が主宰した歌誌「心の花」に拠って短歌革新の気運を起こし、木下利玄、九条武子らの優れた歌人がが出た。
明治三十二年、(C)は新詩社結成して雑誌「明星」を発刊し、浪漫主義的歌風を主張した。ここから(D)の「みだれ髪」が生まれ、その情熱的・唯美的歌風が絶大な支持を受けた。
浪漫主義的歌風全盛時代に明星派の主情的・空想的な歌に反対して、(E)が一八九八年「歌よみに与ふる書」を発表して「古今集」を否定する一方、「万葉集」や源実朝の「金槐集」を褒め称え、短歌は万葉集時代の写実を見習うべきだと主張した。

①正岡子規 ②与謝野晶子 ③与謝野鉄幹 ④佐佐木信綱 ⑤樋口一葉
⑥落合直文 ⑦石川啄木 ⑧北原白秋 ⑨島崎藤村